

「叙勲・表彰」おめでとうございます

旭日双光章

鈴木 ^{ひさし}久さん(78歳=田野口)

元中川根町長の鈴木 久さんに旭日双光章が授与され、5月2日、静岡県庁で川勝県知事から伝達されました。

鈴木さんは、昭和48年2月、中川根町議会議員に当選、町議会議員として3期12年、平成2年2月には中川根町長に当選され、平成10年2月まで2期8年の20年にわたり、強い信念と卓越なる識見で地方自治の伸展に寄与されました。町営バスの運行開始や高齢者介護ホームの開設など町民が安心して暮らせる環境づくりに尽力されました。また、中川根町商工会の理事、副会長を歴任され地域の商工業の発展に貢献されました。

この功績が認められ、今回の受章となりました。



▲㊦鈴木久さん、㊦川勝県知事、㊦奥さんの美代子さん

瑞宝単光章

鈴木 ^{まさる}優さん(66歳=地名)

地名の鈴木 優さんが鉄道業務功勞により、瑞宝単光章を授与されました。

鈴木さんは、昭和37年3月に大井川鐵道に入社以来50年余の永きにわたり一貫して現業部門に従事され、S L・バス・電車など全ての車両に精通され、会社が保有する全車両の整備を一手に担われていました。

特に、現在では、全国一を誇るまでになっているS Lの動態保存においては、当初から情熱を注ぎ、車両の修復、整備に陣頭指揮をとり、大井川鐵道及び地域の観光資源の発展に大きく貢献されました。

この功績が認められ、今回の受章となりました。



▲㊦鈴木優さん、㊦奥さんのすみゑさん

総務課・行政室 ☎(56) 2220

静岡県猟友会特別表彰

山田 ^{えいいち}榮一さん(90歳=上長尾)

山田榮一さんが長年にわたり狩猟、有害鳥獣捕獲事業、野生鳥獣保護事業等を行い、地域の野生鳥獣被害対策に尽力された功績が認められ、社団法人静岡県猟友会から功勞表彰を受けました。

狩猟歴は60年になるという山田さん。受賞おめでとうございます。



産業課・林業室 ☎(56) 2226

平成25年度の対象者には案内を送付します 日本脳炎予防接種のお知らせ



平成7年4月2日から平成19年4月1日までに生まれたお子さん(※平成7年4月2日～5月31日が平成25年度追加されました)については、20歳になるまでの間、日本脳炎の定期予防接種が受けられます。平成25年度の対象者には個別にご案内いたします。

1期追加接種(1回)

▼4歳(平成21年4月2日～平成22年4月1日生)

▼小学3年生(平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ)、小学4年生(平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれ)の方は、1期追加接種(1回)の不足分を平成25年度中に行います。

2期(1回)

▼平成25年度に18歳となる方(平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ)については2期接種(1回)の不足分を平成25年度中に行います。

※日本脳炎予防接種の詳細は、生活健康課健康室にお問合わせいただくか、厚生労働省ホームページ「日本脳炎ワクチン接種に係るQ&A」をご覧ください。

平成25年度の積極的勧奨対象者

1期初回接種(2回)

▼3歳(平成22年4月2日～平成23年4月1日生)

▼小学1年生(平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ)、小学2年生(平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれ)の方は、1期初回接種(2回)の不足分を平成25年度中に行います。なお川根本町では、小学1年生は平成22年度に3歳の接

6月7日、川根本町茶業振興協議会(会長・佐藤公敏町長)は2週間前の5月24日に3枚重ねの遮光シートをかぶせた本町田代の茶園約200平方メートルで44^キの白葉茶を摘採しました。

白葉茶は、日光を完全に遮断し光合成を止めることで、茶葉の色が白黄色になり、茶のうま味成分であるアミノ酸含有量が約3倍になります。県農林技術研究所茶業研究センター(菊川市)が中心となり栽培技術を開発、榛南や他地域でも試験栽培が進められています。茶業振興協議会はリーフ茶の消費伸び悩みや茶価低迷を打開し、川根茶に新



▲日光を完全に遮断し光合成を止めることで、茶葉の色が白黄色になるのが特徴の白葉茶



▲花房則告室長は「白葉茶が一つのきっかけとして、農家のやる気につながれば」と期待を込めます。

たな付加価値を付けるきっかけづくりとして2年前から川根奥大井茶生産力強化推進協議会(永田喜久司会長)と連携して試験栽培を行っています。摘採した44^キの白葉茶のうち30^キは煎茶に、14^キは紅茶に仕上げました。煎茶は60℃から70℃くらいのお湯で入れると苦味・渋味が少なくうま味が引き立ちます。

白葉茶で作る紅茶は、葉も水色も見た目は通常の紅茶と同じ赤みを帯びた色ですが、味は大きく異なります。「渋味が少なくうま味成分が多いため、味に丸みを感じられる。飲みやすく子どもにも受け入れられやすい味」と試作に携わった産業課農業室の成島光昭係長は手応えを話しました。

今年も紅茶づくりに挑戦しました うま味が増した「白葉茶」の摘採